5月度「京都学ラウンジ　ミニ講座」（開催報告）

平成30年5月31日
京 都 学 ・ 歴 彩 館
075−723−4835

この度、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で毎週木曜日に「京都学ラウンジ　ミニ講座」を開催しております。5月10日～5月31日にかけて４回開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

■ 日　　時　　平成３０年 5月１０日・１７日・２４日・３１日
いずれも木曜日１３：３０～１４：００

■ 会　　場　　京都府立京都学・歴彩館 京都学ラウンジ

■ 参加者数　　３６名（１０日）、２５名（１７日）、２７名（２４日）２５名（３１日）
合計　１１３　名

■ 内　　容
「遊びをせんとや―出版記念パネル展・執筆者面白トーク」（全４回）
第1講　新聞記事、執筆うら話　　（講師　京都学・歴彩館資料課　楠　久美）
第2講　『都の魁』摺物工の仕事、今に（講師　京都学・歴彩館資料課　祖父江　長良）
第3講　江戸時代・女性のきもの事情　（講師　京都学・歴彩館資料課　藤本　恵子）
第4講　幕末日本の天文学と数学　　（講師　京都学・歴彩館資料課　藤原　直幸）
レジュメを配付するとともにパワーポイントを使って説明。

■ 講座の様子
歴彩館所蔵の貴重な古典籍を紹介する京都新聞の連載コラム「遊びをせんとや」が単行本として出版された。それを記念して、歴彩館の執筆者が当館所蔵の古典籍や執筆エピソードを軽妙な語り口で紹介した。当館は、非常に多くの古典籍を所蔵しているにもかかわらず、それを府民に向けて紹介する機会は限られており、今回の講座は薄暗い書庫に収められた典籍に光が当てられ、多くの方に知っていただけたという意味において大変に意義深い講座になったといえよう。また、資料を選択する際にみせるセンスや情報収集の方法など、資料課職員の“腕の見せ所”をご堪能いただけたであろう。会場となった京都学ラウンジでは遊びをせんとやの新聞コラムのパネル展示を同時に開催した。本講座を通して、歴彩館がより身近な存在になっていただけたと確信している。